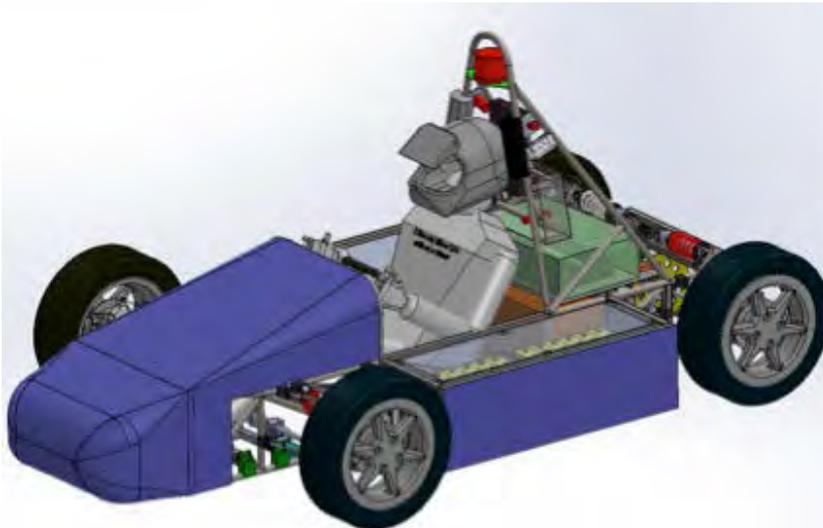


KIT EV Formula VolTech

KIT EV Formula VolTech

<http://www.kit-voltech.com/>

第13回大会、初出場を終えて



Presentation

プレゼンテーション

今年度のマシンは、私たちが大会初出場ということもあり、「Simple is BEST」というコンセプトのもとで開発を行ないました。

設計においては機械的部分、電気的部分とものできる限り簡素で制作が簡単、かつ必要十分な剛性を持つように心掛けました。これによって設計時間、制作時間の短縮を図り、マシンの早期完成をめざしました。

メンテナンス性においては、動力源にメンテナンスフリーなブラシレスDCモーターを採用する。バッテリーはサイドポッドに配置し取り出しやすさも考慮する。タッチパネル式のBMSによってバッテリーの状態が一目で分かるようにする。これらによってEVの重要な部分である高電圧系の保守性を高めました。

しかし、今年度大会において私たちはマシンを完成させることができず、シェイクダウン証明が提出できませんでした。原因の主なものとして、ひとつはメンバーの多くが設計、製作の経験がなく予定以上に設計に時間が掛かってしまったことがあります。設計と現実で製作を行なった際のズレを考慮しておらず、製作を進めていく中で大量の問題を修正する必要に迫られましたが、それに十分な時間は残されていませんでした。

Participation report

参戦レポート

昨年度、私たちのチームはESF、FMEAといった書類に不備があり、大会への出場を辞退するという結果に終わりました。そこで、今年度は確実な大会出場、および車検通過、動的審査出場を目標として活動を行なってきました。

今年度は特にマネジメントに力を注ぎチームの地力を上げることで、ひとつめの目標であった大会初出場を果たすことができました。しかし、今年度はシェイクダウン証明を提出することができず、静的審査のみに参加という結果となり、ふたつめの目標であった車検通過、動的審査出場を果たすことができませんでした。

静的審査においては、プレゼンテーション審査はスケジュールの関係上参加することができませんでしたが、コスト審査とデザイン審査に参加することができました。コスト審査においては他のEVチームが軒並み-100点となる中、EVチーム中2位となることができました。しかし、全体からみるとは61位、点数は8.61点とまだまだ改善の余地があります。コスト審査、デザイン審査に共通して口頭審査への準備不足が目立ち、これを改善していくことが今後の大きな課題です。

また、今回が大会初出場ということもあり、審査以外の部分においても課題が多く見つかりました。来年度大会は今回の大会で得られた経験を生かし、EV部門での優勝をめざして活動していきます。最後になりましたが、支援、協賛していただきましたスポンサーの皆様、先生方、大学関係者の方々、保護者の皆様、OB、OGの皆様にご心より感謝申し上げます。



今回の総合結果・部門賞

●総合80位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たちKIT EV Formula VolTechは2012年に発足したチームです。メンバーは19人で学部1年生から大学院2年生まで幅広い学年で構成されています。まだまだ経験の浅いチームですが、チームメンバー丸となって「EVクラス優勝」をめざし活動しています。

Team-member チームメンバー

下田 久嗣 (CP)

森 直樹 (FA)

松浦 亮信、請田 春哉、江口 柁、朱 鵬程、松下 康輝、松田 淳志、今池 真弘、寺田 景、木下 裕太、山本 大貴、吉田 健人、角本 雄輔、黒田 航平、徳永 英明、上園 悠生、太田 泰拓、馬場 涼太、時田 裕輔

Sponsors スポンサーリスト

協和工業、センサータ・テクノロジーズジャパン、ソリッドワークスジャパン、オーナンバ、エフ・シー・シー、ニスコ、高田工業所、ミスミ、住友ゴム工業、北九州イノベーションキャリブ、エービーシー、サンエリア、モトサービスマンザイ、

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/E9.html>